

認知症施策の新たな取組

「さいたま市チームオレンジ」

がスタートしました



▲さいたま市チームオレンジロゴマーク

令和6年2月2日（金）
市長定例記者会見

取組の背景①(認知症高齢者数の推移)

【国】認知症高齢者数の推計

65歳以上の高齢者の
約**5**人に**1**人
に達する見込み

約**700**万人

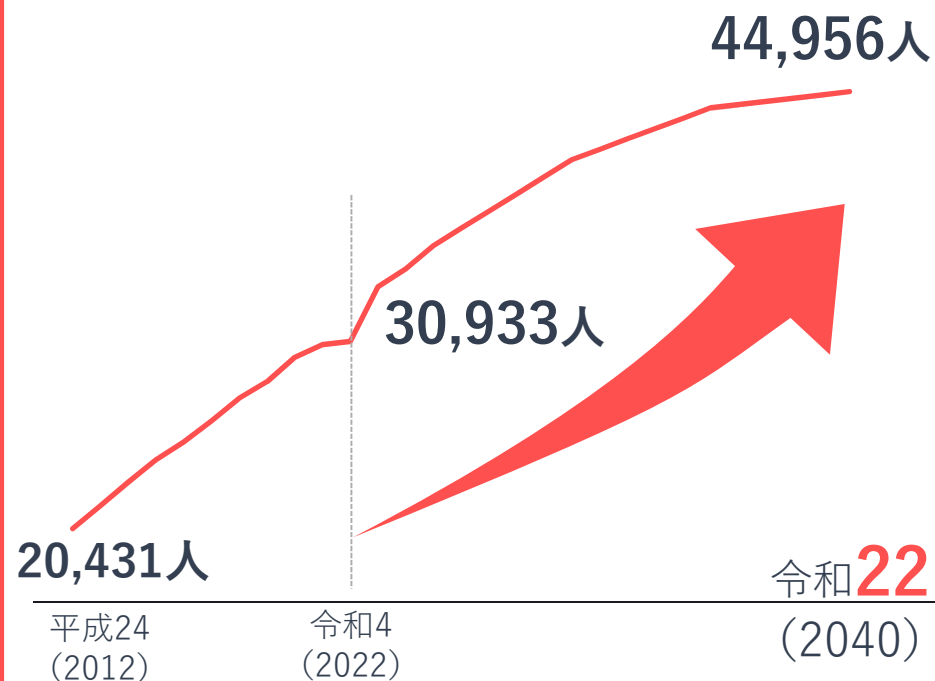
462万人

平成24
(2012)

令和7
(2025)

▲平成28年版高齢社会白書(65歳以上の認知症患者数と有病率の将来推計)を基に作成

【さいたま市】認知症高齢者数の推移



▲令和4年度までは実績数値
令和5年度以降は、「第8期さいたま市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」掲載資料を基に作成

取組の背景②（認知症基本法の施行）

- 令和6年1月に「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行。
- 基本法では、保健・医療・福祉サービスの充実に加え、**認知症を個性と認めながら共生できる社会の実現の推進に重点**が置かれたところに特徴。
- 認知症の人が安心して暮らし続けるまちの実現には、
 - ① 地域における **「認知症の人の社会参加の場の創出」** と
 - ② 日常生活の様々な場面でサービスやモノを提供する民間企業など **「多様な主体との連携」** が不可欠。

- ▼
- 本市では、これまで養成を進めてきた認知症サポーターの（累計 **91,619**人 令和6年1月1日時点）の発展的取組として・・・

「さいたま市チームオレンジ」

の取組を開始（令和5年11月～）



▲認知症サポーター養成講座の様子

さいたま市チームオレンジ事業概要

目的

取組

内容

制度

共生のまちづくり

認知症の人の
社会参加の場の創出

TEAM


① チームおれんじ

認知症の人とその家族及び
サポーター等により構成された
チームによる地域活動

登録

市による
活動の支援

多様な主体による連携
(認知症バリアフリー)



② 認知症フレンドリー
企業・団体

企業・団体等による
認知症への
理解と支援などの活動

登録

市による
活動のPR

チームオレンジの取組として、
企業・団体を対象とした登録制度を設けるのは

政令市としては**初**めて！！



さいたま市チームオレンジ

「①チームおれんじ」

「②認知症フレンドリー企業・団体」

による2つの取組の総称

取組の柱① チームおれんじ

- 認知症の人とその家族及びサポーター等により構成されたチームによる自主的な地域活動

「支援する人、される人」という関係を乗り越え、認知症の人とともに同じ地域のパートナーとして、自分らしく安心して暮らせる地域づくりを進める

実践例



- チームおれんじ「よつばのひろば」
(南区)
- 20人
- 月1回
お茶を飲みながら、普段感じていることややりたいことを話しながら、実現するための活動を行っています。



- チームおれんじ「えがお」(岩槻区)
- 25人
- 月1回
本人の得意なことを活かしたり、やってみたいことを取り入れて、活動内容をチームみんなで話し合っています。
本人による演奏会や盆踊りなどを実施。

活動内容



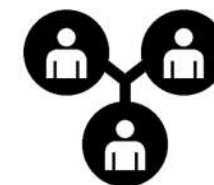
居場所(集う場)づくり
(認知症カフェ、本人交流会
常設サロン等の開催)



見守り、生活・移動支援
(外出支援、見守り活動、話し相手、定期訪問など)



学習・運動、趣味活動



相談をつなぐ
(各種支援サービスの調整)

取組の柱② 認知症フレンドリー企業・団体

- 認知症への理解及び支援、認知症の人が利用しやすいサービス・製品開発、環境整備などを実践
- 市が登録を行い、その活動・発信を通じて、企業・団体自身の価値を高めていただく。

- まち全体で認知症と共生する社会活動を展開
- 認知症の人とその家族が「社会と共に生きている」と実感できる社会的雰囲気醸成

実践例



◀従業員向けサポーター講座



企業による美容健康講座▶

活動内容

1



認知症サポーター等の
「人材育成」

2



チームおれんじなどの
「地域連携」

3



認知症をサポートする
「社内制度」

4



認知症の人が利用しやすい
「サービス・環境整備」

登録する場合は

① チームおれんじ

対 象 ・本市に所在地を有し、又は活動の拠点がある団体

登録要件 ・所属するメンバー1名以上が、認知症サポーター
ステップアップ講座を受講している、又は受講する
予定であること
・認知症の人がチームの一員として、認知症の人
本人が主体的に参加できるように努めていること

申請方法 ・申請書を各区高齢介護課に提出

登録後 ・活動情報を市HPで公開
・地域包括支援センターに配置するコーディネーターによる活動支援

② 認知症フレンドリー企業・団体

・市内で事業活動を展開する企業・団体
※業種・規模は問わず、支所・支店単位で登録可能

・企業内において認知症の理解を深める人材育成を行っている
・認知症に関連した地域活動や市の施策を支援する取組を行っている。
・認知症の人などをサポートする社内制度を設けている
・認知症の人が利用しやすいサービス開発や環境整備を行っている
※いずれか一つ要件を満たせば、登録可

・専用フォームによるオンライン申請

・登録内容を市HPで公開
・登録企業向けに市の認知症関連情報を定期的にメールで配信 など

登録チーム・企業には啓発品を配布しています

① チームおれんじ

- チーム員が活動する際に身につけるチームグッズなどを配布



▲登録証



▲Tシャツ



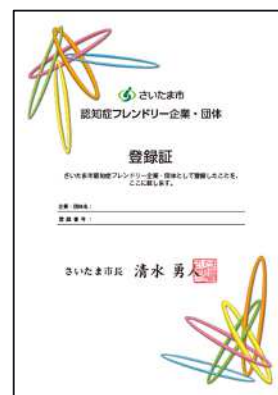
▲スペシャルリング



▲バッジ

② 認知症フレンドリー企業・団体

- 店頭や窓口で掲示する啓発品などを配布



▲登録証



▲ステッカー



▲認定盾

- 取組開始に合わせ、

さいたま市チームオレンジWEB を開設しています。

<https://www.city.saitama.jp/002/003/003/004/004/p099677.html>

トップページ > 健康・医療・福祉 > 福祉・介護 > 高齢の方 > 認知症 > チームオレンジ > チームオレンジWEB (メインページ)



▲ チームオレンジweb

- 市民、企業、関係者などに向けて登録や活動を行う際の

チームオレンジガイドブック を作成しています。

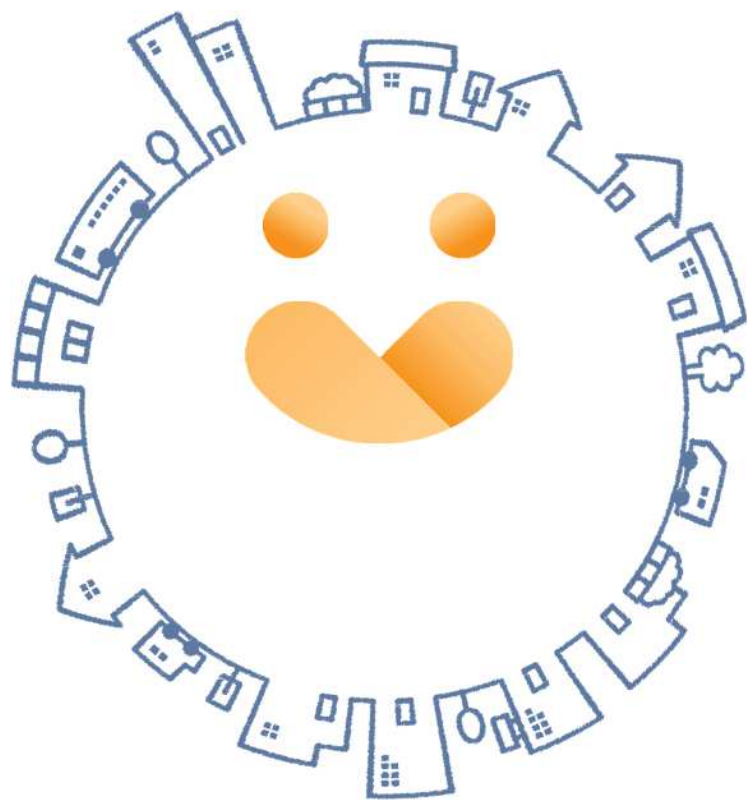
※チームオレンジWEBからダウンロード可



◀ ガイドブック

さいたま市チームオレンジロゴマーク

認知症の人本人で構成されたワーキングチームから
頂いた意見を基にデザインしています。



コンセプト

「人（目と口）」：

認知症の人も含めてまちで暮らす人々が、お互いを理解し、寄り添いながら、補い合いあう様子が描かれています。また、その様子が人の顔にも模され、笑顔になっています。

「まち（顔）」：

中心の人を囲む「まち」が円状に描かれ、顔の形にもなっています。認知症の人も含めた人々が、まち全体で、「共生」や「共創（まちづくり）」する様子として描かれています。

ワーキングチームの様子▶

